

「赤松小三郎研究会」入会のご案内

当研究会は、赤松小三郎や幕末史に関心をお持ちの多くの皆さまのご入会を心からお待ちしております。上田高校同窓生の皆さまに限らず、どなたでも入会大歓迎です。次ページの入会申込書をご利用ください。

(幕末の上田藩士、赤松小三郎)

幕末の上田藩士、赤松小三郎は、京都の薩摩藩邸や会津藩邸などで西洋兵学などを教え、東郷平八郎はじめ多くの英才を育てました。また、他の誰よりも早く、議会制度の創設などわが国近代化に向けてのグランドデザイン(憲法構想)「建白七策」を起草し、前政事総裁職の松平春嶽、薩摩藩国父の島津久光など政局のキーマンにその実現を働きかけるなど、わが国の近代化のために全力を尽くしました。しかし、慶応3年(1867年)9月3日、37歳で、弟子の中村半次郎(桐野利秋)など薩摩藩士によって暗殺されました。

赤松小三郎の先進的な政治思想と優れた洋学の教えは、日本の近代化に大きな役割を果たしましたが、志半ばで暗殺されたこともあり、これまで、小三郎の事績について、十分な歴史的評価が行われてきたとは言い難い状況にあります。

(研究会の設立目的とこれまでの活動概要)

赤松小三郎研究会は、赤松小三郎の事績を明らかにし、歴史的な再評価を実現するとともに、広く幕末史への理解を深めることなどを目的として、2013年8月、上田高校関東同窓会の同好会として設立され、今年、設立10周年を迎えました。

この間、多くの皆さまのご支援をいただきながら、9回の講演会を含め、50回を超える会合を重ねることができ、多くの成果を挙げることができました。

(研究会例会の活動内容)

当研究会の例会は、現在、偶数月の第2土曜日、午後2時から2～3時間程度開催されており(会費は実費500円程度)、毎回、20名程度が出席しています。

例会では、研究会会員や有識者から、赤松小三郎や幕末史などに関するさまざまなテーマについて、調査・研究の成果が発表され、この発表を基に活発な意見交換を行っています。これらの活動の概要は、毎回、上田高校関東同窓会ホームページ(「会の活動・同好会活動」)において、公開しております。

<http://uedakant.sakura.ne.jp/>

また、赤松小三郎研究会では、これらの活動と合わせて、佐野鼎研究会、幕末史研究会、万延元年遣米使節子孫の会、勝海舟の会など他の研究会などとの交流も活発に行っております。

(入会のお誘い)

赤松小三郎研究会では、活動の充実・強化のため、赤松小三郎はじめ幕末史に関心をお持ちの皆さまに、当研究会に是非ともご入会いただきたいと願っております。

なお、この研究会には、上田高校同窓生に限らず、赤松小三郎や幕末史に関心をお持ちの方であれば、どなたでも入会を大歓迎いたします。

(入会のお申込み・お問い合わせ)

当研究会への入会をご希望の方は、下記入会申込書に、入会金1000円を添えて、お申し込みくださいますよう、お願い申し上げます。

また、入会や活動状況等についてのお問い合わせは、下記までお願い申し上げます。

赤松小三郎研究会：Eメール：oosakajou@msn.com

————— (切り取ってご提出ください。) —————

赤松小三郎研究会入会申込書

入会金1000円を添えて、次のとおり入会を申し込みます。

年 月 日

お名前 : _____ (上田高校同窓生の場合 期)

お電話番号 : _____

メールアドレス : _____

ご住所 : _____

_____ (お預かりした個人情報は、厳正に取り扱い、目的外使用はいたしません。)